

2021年3月期 通期決算および 新中期経営計画「リバイバル計画 24 (RP24)」

2021年3月期 通期決算および 2022年3月期 業績予想

- 2021年3月期通期の売上、営業利益は第3四半期発表時の予想を上回った。
第1四半期の新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による需要急減の影響が大きく、累計では減収減益ながら、第2四半期以降は需要回復とコスト削減努力により、各四半期で営業黒字を継続して計上
- 2022年3月期の黒字転換に向けたコスト構造改革を推進。
グローバルで2,000人超の人員削減は計画通り進捗、引当計上を2021年3月期に完了
- 2022年3月期の業績予想は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響の継続や半導体不足等の懸念はあるものの、概ね安定的な需要回復とコスト改善により、全事業で前年比増収増益、純利益の黒字転換を計画

新中期経営計画「リバイバル計画 24 (RP24)」(2022年3月期~2024年3月期)

- 新中期経営計画「リバイバル計画 24 (RP24)」を公表。2024年3月までの3年間を構造改革期と位置づけ、収益構造の抜本的改革、財務基盤の回復、事業ポートフォリオの転換に集中的に取り組む

1. 2021年3月期通期決算

- 通期の売上、営業利益は第3四半期発表時の予想を上回った。
第1四半期の新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による需要急減の影響が大きく、累計では減収減益だが、第2四半期以降は需要回復とコスト削減努力により、各四半期で営業黒字を継続して計上
- 第4四半期(1-3月)の売上、営業利益は、全事業ともに新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響の始まった前年比で増収増益。固定資産譲渡益の計上により構造改革関連費用の影響を軽減
- 為替影響あり、円換算後の総資産が増加。通期純損失計上により自己資本比率は低下
- キャッシュ節減活動の継続で第2四半期、第3四半期に続き第4四半期もフリーキャッシュフローはプラス

<損益計算書および財務指標>

(億円)	1-3月期 (3ヶ月)			通期累計 (12ヶ月)			前回通期予想 2021年 3月期
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	
売上高	1,304	1,418	114	5,562	4,992	△ 570	4,900
営業利益	32	51	19	212	131	△ 81	120
営業利益率	2.5%	3.6%	+1.1pt	3.8%	2.6%	△ 1.2pt	2.4%
個別開示項目(COVID関連)	△ 22	△ 21	1	△ 22	△ 161	△ 139	△ 140
COVID関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	10	30	20	190	△ 30	△ 220	△ 20
個別開示項目(その他)	△ 174	△ 55	119	△ 218	△ 53	165	—
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 164	△ 25	139	△ 28	△ 83	△ 55	—
金融費用(純額)	△ 23	△ 35	△ 12	△ 118	△ 110	8	—
持分法による投資損益	△ 1	13	14	11	21	10	—
税引前損失	△ 188	△ 47	141	△ 135	△ 172	△ 37	—
当期損失	△ 194	△ 28	166	△ 175	△ 163	12	—
純損失*	△ 201	△ 30	171	△ 189	△ 169	20	—
EBITDA	118	145	27	550	468	△ 82	—
フリーキャッシュフロー	228	241	13	△ 264	△ 45	219	—

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

(億円)	2020年 3月末	2020年 12月末	2021年 3月末	2020年 3月末比増減	2020年 12月末比増減
総資産	7,652	7,780	8,250	598	470
親会社の所有者に帰属する持分	736	613	629	△107	16
自己資本比率 (%)	9.6%	7.9%	7.6%	△2.0pt	△0.3pt

<事業別売上・営業利益>

(億円)	2020年3月期		2021年3月期		増減	
	1-3月期	累計	1-3月期	累計	1-3月期	累計
売上高						
建築用ガラス	536	2,337	594	2,155	58	△182
自動車用ガラス	664	2,810	716	2,452	52	△358
高機能ガラス	99	401	102	368	3	△33
その他	5	14	6	17	1	3
売上高合計	1,304	5,562	1,418	4,992	114	△570
営業利益						
建築用ガラス	33	173	42	157	9	△16
自動車用ガラス	8	61	29	18	21	△43
高機能ガラス	17	71	22	67	5	△4
その他	△26	△93	△42	△111	△16	△18
営業利益合計	32	212	51	131	19	△81

2. 2021年3月期の重要施策

- 2022年3月期の黒字転換に向けたコスト構造改革を推進。グローバルで2,000人超の人員削減は計画通り進捗、引当計上を2021年3月期に完了
- 事業ポートフォリオ変革の一環として、バッテリーセパレーター事業の譲渡を決定（譲渡完了は8月予定）

3. 2022年3月期通期業績予想

- 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響の継続や半導体不足等の懸念はあるものの、概ね安定的な需要回復を想定
- 堅調な需要回復とコスト改善により、全事業で前年比増収増益、純利益の黒字転換を計画
- 新中期経営計画「リバイバル計画24(RP24)」の初年度として、構造改革の推進、コスト削減、キャッシュ創出に努め、財務基盤の回復に向け、純利益、フリーキャッシュフローの黒字化を必達する

<業績予想>

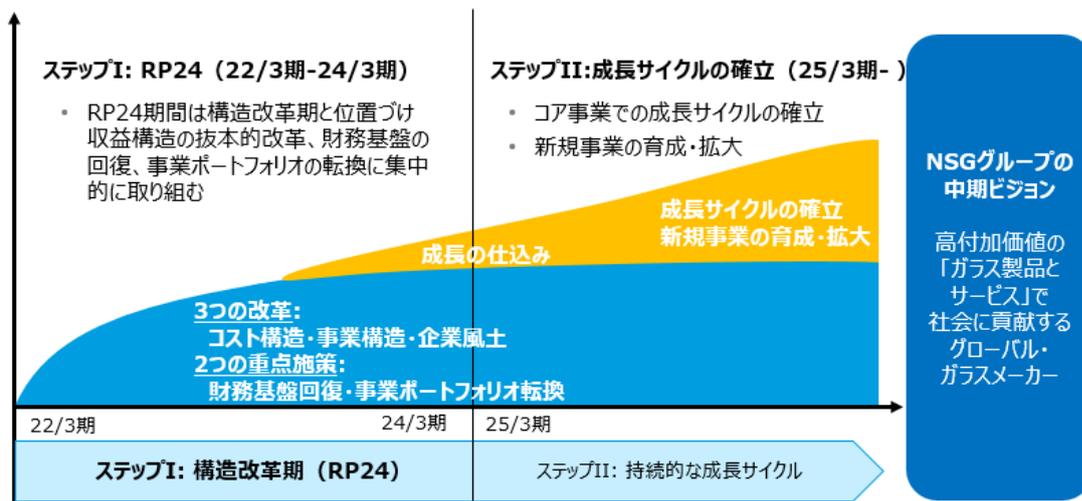
(億円)	2021年3月期		2022年3月期		増減	
	実績		予想		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	2,215	4,992	2,500	5,300	285	308
営業利益(△損失)	32	131	100	220	68	89
COVID関連個別開示項目後						
営業利益(△損失)	△96	△30	100	220	196	250
個別開示項目(その他)	△8	△53	50	50	58	103
個別開示項目後営業利益(△損失)	△104	△83	150	270	254	353
金融費用(純額)	△54	△110	△70	△140	△16	△30
持分法による投資損益	△2	21	10	20	12	△1
税引前利益(△損失)	△160	△172	90	150	250	322
当期利益(△損失)	△172	△163	80	110	252	273
純利益(△損失)*	△173	△169	70	90	243	259

*親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)

4. 新中期経営計画「リバイバル計画 24 (RP24) 」(2021年4月から2024年3月)

- NSGグループの中期ビジョンとして「高付加価値の『ガラス製品とサービス』で社会に貢献するグローバル・ガラスメーカーとなる」ことを掲げ、成長サイクルの確立に向け、RP24 期間を構造改革期と位置づける
- 「3つの改革」と「2つの重点施策」にコミットし、過去と断絶して、構造改革をやり抜き、持続的な成長が果たせる強い事業体質を構築
- 2024年3月期における財務目標を設定。稼ぐ力の強化により安定的な純利益とフリーキャッシュフローを創出し、自己資本比率10%以上への早期回復を図る

<「中期ビジョン」と実現のためのロードマップ>



<RP24 における構造改革の狙いと主要施策>

構造改革の狙い	3つの改革と2つの重点施策を断行し、持続的成長が果たせる強い事業体質を構築		
主要施策	3つの改革		
	コスト構造改革 コスト削減 生産性向上	事業構造改革 高付加価値事業の拡大 新規成長分野の育成 投資・資産効率重視	企業風土改革 変革に挑戦し、やり抜き結果を出す組織への改革
	2つの重点施策	財務基盤の回復 高収益事業へのポートフォリオ転換	

<RP24 財務目標>

	21/3期	24/3期 目標
営業利益率*1	2.6%	8%
純利益*2	△169億円	3年累計 300億円以上
自己資本比率	7.6%	10%以上
フリーキャッシュフロー	△45億円	100億円以上

*1 無形資産償却後営業利益率

*2 親会社の所有者に帰属する当期損益